

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 436

事務事業名	上久原芋堀手線(木場SIC)整備事業
-------	--------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	宮崎 浩一	内線	424

基本目標	050201	機能的で環境と調和したまち
政策		道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		道路網の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	2	道路橋りょう費	
目	3	道路新設改良費	
事業コード	020501	木場SIC(仮称)整備事業	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	高速道路利用者		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	大村市南部に位置する木場PAを利用し、当該地区にスマートインターチェンジを設置することは、周辺土地利用の促進や地域の振興を図ることはもとより、国道34号の渋滞緩和、大村市中心部・長崎医療センターへのアクセス向上等、大村市の発展に重要な施設となる。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	全体計画 事業延長 L=760m 用地買収 A=19,608㎡ 家屋補償 N=6棟 全体事業費≒3,020,000千円(内大村市 C≒874,000千円)		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	平成 23 年度	～	平成 29 年度
実施方法	直営		

成果指標名	走行時間の短縮				算定式等 ICから市役所付近間距離／走行速度＝走行時間
着手前現状値	平成 23 年度	単位	分	15	
完了後計画値	平成 29 年度			9	

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	12,616							12,616
	項目別進捗率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
実施設計	実績・計画額	28,542	10,333	6,317	1,500	9,510			56,202
	項目別進捗率	50.78%	69.17%	80.41%	83.08%	100.00%	100.00%	100.00%	
用地・補償	実績・計画額		72,907	153,515	2,500	11,860			240,782
	項目別進捗率	0.00%	30.28%	94.04%	95.07%	100.00%	100.00%	100.00%	
建設工事	実績・計画額		18,927	112,060	177,100	253,080			561,167
	項目別進捗率	0.00%	3.37%	23.34%	54.90%	100.00%	100.00%	100.00%	
事務費等	実績・計画額	620	349	256	500	2,000			3,725
	項目別進捗率	16.64%	26.01%	32.89%	46.31%	100.00%	100.00%	100.00%	
合計	実績・計画額	41,778	102,516	272,148	181,600	276,450	0	0	874,492
	項目別進捗率	4.78%	16.50%	47.62%	68.39%	100.00%	100.00%	100.00%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	36,378	102,516	272,148	181,600	276,450	0	0	
国庫支出金	18,591	56,190	153,035	98,780	149,572			
県支出金								
地方債	13,600	41,600	105,100	73,100	111,900			
その他								
一般財源	4,187	4,726	14,013	9,720	14,978			
② 人件費(千円)	4,011	2,961	3,779	7,013	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.47	0.36	0.48	0.93	補償・工事 1式			
時間外勤務(時間)	138	120	197	125				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	40,389	105,477	275,927	188,613				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成24年4月17日連結許可 平成24年8月29日NEXCOとの基本協定 平成27年度はスマートインターチェンジ本体の用地取得を完了し、本格的な本体工事に着手した。またアクセス道路についても工事を実施している。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	慢性的な渋滞が発生している国道34号の交通需要を分散し渋滞・混雑緩和が期待されるだけでなく、高速道路を利用した交通体系の充実を図ることは移動時間の飛躍的短縮が見込まれる。 また、大村市中心部周辺への利便性が向上し地域の活性化に大きく寄与するため、本事業の必要性は極めて高い。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	スマートインターチェンジの整備は、災害時に主要道路のリダンダンシーを確保できることから、連結許可を受けている本事業の緊急性、優先性は極めて高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高規格道路へのアクセス性が高まることは、大村市の都市基盤整備の充実を図るうえで非常に有効である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし	削減の余地あり			該当なし	
	高速道路利便増進計画に基づき事業区分、施工区分が決定しているが、今後の工事施工において可能な限りコストの削減を図る。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし	見直しの余地あり			該当なし	
	高規格道路網の整備については、県内全域に効果が及ぶものであるため、長崎県に対して効果相応分の助成を要望して行く。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	事業化が決定したいま、早期供用を実施することが望ましい。このため、地域住民及び関係機関と十分な協議を行い事業の進捗を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。